

(十一丁ウ〜十二丁オ)

①衣いふくをせんたくするとミれば、酒しよくのたぐひをもらふしるしなり、

②わがいふくにわかにかにやぶれたりと見れば、女房によぼうかぎ不義をなすことあり、こゝろえべし

③水のながれふかしと見るときは、よろこびいわふ事できておふひによし、

④人と同舟どうせんするとミれば、宅たくを他所たしよへうつしかゆる事あり、

⑤水の上をあゆみゆくとミれば、諸事しよじとゝのひ大吉なり、

⑥大水にてきよくすむとミれば、さいわいありて大吉なり、

⑦水の上に立っていると見れば、あしく、

⑧水の中へはいりいると見れば、さいわいあり、おふいによし、

⑨大水にあいてながれ上ると見ればよし、しづむとミればあしく

⑩宅いへのうち中に松まつ・栢かや・柏かしわの生しやうすると見れば、いのち長うしていへはんじやうするなり、

⑪家内をさうじするとミれば、ゑん方より人きたるなり、

⑫新あたらしきたくへうつるとミれば、ふうきになるしるしにて大いによし、

⑬閨房ねやの梁をれるとミれば、大にあしく、

⑭人のいへに大水つくと見れば、子をうしなふ事ありておふいにあしく、

⑮大川の水をやくと見れば、いのち長ふして仕合よし、

⑯家のくらしいたつてまづしきと見れば、おゝいにとくをとるしる

しなり、